

広 報

ふじがわ

5 月号

昭和57年 5 月20日発行

No. 250

町のメモ

昭和57年 5 月1日現在

人 口	16,968人
増 減	- 36人
男	8,391人
女	8,577人
世帯数	4,305世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 企画開発課



あ、ウグイスが鳴ってる

(表紙の言葉は2ページに)

町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るい町に」



役場の塔最上階の観測室（中央がレーザー光線を利用した波測測儀・同測距儀の右側が気象観測装置）また右下の写真は富士市に三ヶ所と当町に一ヶ所設置されている反射プリズム。

いつ起こっても不思議ではないとか、起これば静岡県下に大きな被害が予想されるともいわれている「東海大地震」。地震の発生直前に起こると予想される富士川断層の異常な動きをとらえようと、東京大学地震研究所の恒石幸正先生と（株）環境アセスメントセンターの塩坂邦雄社長が、当町役場に光波測距装置を、また富士市に反射鏡を取付け、レーザー光線

駿河トラフをめぐる二説

つぎに、その対立点をみることにします。駿河湾の中軸部は深い海底の溝となつていますが、日本海溝のように深くなく、このため海溝（トレンチ）と区別して舟状海盆（トラフ）と呼んでいます。そして駿河トラフには大きな断層が通つて

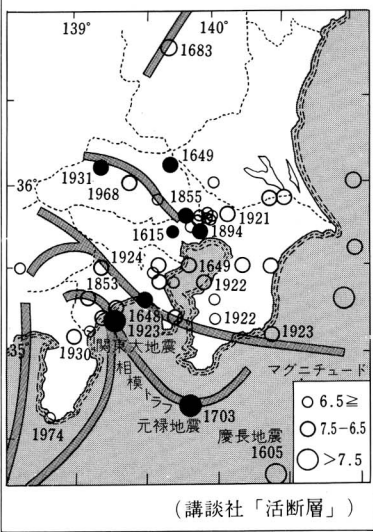
「もぐり込み説」は駿河湾にプレート境界があるとの前提に立っていることは先にも述べましたが、駿河トラフがプレート境界であるという説は、石橋説以前

ど皮のようなものです。また、地殻は地球内部に比べて硬いので、地球内部からの力によって割れることがありますが、その割れ方は、開いてちぎれるのではなく、地殻内の弱い面にそつて上下または横にずれ動くのです。この地殻内の弱い面が断層と呼ばれ、この面にそつて地殻がずれ動くことを断層運動といいます。

ます。ですから、地震予知のためには、どの断層が次に活動するかを見極める作業が第一歩となります。最も大きな断層は大逆断層です。みなさんも右ページの図-1のように、プレートの境界で海

たと考えられています。しかし、巨大地震がすべてプレート境界で発生するとは限りません。明治24年の濃尾地震は内陸で起きていま

図-2 昭和54年時点での金子史朗氏の構造図



（講談社「活断層」）

に神戸大学の杉村新氏により提唱されたものです。杉村説によると、フィリピン海プレートとアジアプレートの境界は南海トラフから駿河トラフへ連なり、田子の浦から箱根の北を回つて神奈川県酒匂川河口へ、そして相模トラフへ至るといふことになっています。杉村氏は、このプレート全体の内田子の浦から酒匂川に至る陸上部分の道筋については、それ以前に東京都立川高校の金子史朗氏によって示されていた位置に依拠したと論文の中で書いています。ところが、最近の金子氏の著書を見ると、杉村氏が根拠とした図は書き替えられ、駿河トラフの上陸地点である田子の浦の部分は消し去られています。（図-2参照）このように、現状では「もぐり込み説」のルーツは途絶えています。今後何らかの修正をほどこして復

富士川断層の観測が始まって丸一年 地震学会で高い評価が

いつ起こっても不思議ではないとか、起これば静岡県下に大きな被害が予想されるともいわれている「東海大地震」。地震の発生直前に起こると予想される富士川断層の異常な動きをとらえようと、東京大学地震研究所の恒石幸正先生と（株）環境アセスメントセンターの塩坂邦雄社長が、当町役場に光波測距装置を、また富士市に反射鏡を取付け、レーザー光線

予知の重要性

どんな大地震があつても、直前に地震予知が成功したならば、被害を最小限に食い止めることができるはず。地震は文字どおり地面が震動することです。ですから、重い落下物の下敷になつたり、火災にまかれたり、津波にさらわれたりすることさえなければ、あるいは工場から流れ出した有毒ガスに襲われたりしなければ、地震とは足元がぐらつくだけの現象という見方ができます。地震の発生が予知されて、私たちが安全な場

所へ移動できる時間的ゆとりさえあれば、こと人命に関して地震はちつともこわくないといえるのではないのでしょうか。したがって、地震災害の軽減のためには、地震予知が何よりも重要な課題となるわけです。

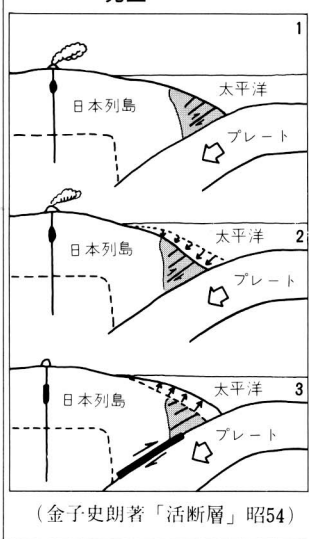
今日、自然科学は急速な進歩をとげているといわれます。しかし「地震予知の科学」については、やっと始つたばかりの段階です。科学の発展については、まずいろいろな方法を試みて、後に歴史的な検証をうけるというのが常道です。ですから、現在町が一翼をに

なっている観測も、このいろいろな方法の一つなのです。中国の地震予知について「大衆観測」ということが広く報道されたり、井戸水を調べたりすることに大衆が参加し、異常を国家地震局へ逐一報告するというものです。こうした方式にも一定の意義があるかも知れませんが、町が協力して行っている観測はこれとは全く異質であり、近代科学に裏付けられた観測なのです。観測開始以来一年を経過した現在、学界からも高い評価を得ています。

地震と断層

地震は、地殻の中で断層運動が起こつた時に発生するというのが今日の定説になっています。地殻というのは、地球の表面をとりまいて厚さ数十キロの部分で、地球をリングにたとえれば、ちよう

図-1 プレートのもぐり込みによる巨大地震の発生



（金子史朗著「活断層」昭54）

表紙の11は

快晴の4月18日、第一三回目の町民ハイキングが「野田山コース」で行われた。午前8時、野田山実相院前・第一小学校グラウンド・吉津公園・第二小学校グラウンドの四カ所に各自集合。各々のコースから野田山を目差した。出発して十分、山あいに入ると、いたるところから「ホーホケキョ」と、ウグイスの鳴声が飛び交い、ほおに遊ぶ風もこころよい。もえるような新緑、足元に目を落とすと「わらびぜんまい・みつば」などの山菜がいっぱい。コースから外れて山菜狩りに興じる家族連れが続出した。それでも午前11時には野田山に到着。各コースからの参加者約二百五十人が広場に勢いぞろい。本年度から五カ年計画で開始される「野田山保健休養林造成事業」の説明の後、宝さがしやジャンケンゲーム、山菜狩りなどで春の一日を満喫していた。ちなみに、参加者中の最高齢者は、86歳の榎本楨之助さん（相生町）だった。

活するものと思われず。一方の「左横すべり説」というのは、駿河トラフがプレート境界ではないという観点から出発し、プレート境界は伊豆半島の外側を回る「伊豆東方線」であろうとしています。(図-3参照)駿河トラフが左横すべり断層であるという考えは、海底地形の解釈から生まれましたが、駿河トラフの陸上延長部分(富士川断層)の詳しい調査によって裏付けられています。

富士川断層

あるので、次の東海地震の発生源になるかと考えるのが「横すべり説」です。その根拠については、すでに広報「ふじかわ」昭和56年3月号でみなさんに紹介しましたが、次の三点です。
①富士山の古い溶岩の分布が、断層の西側では河床に露出しているが、東側では同溶岩が地表から約百二十メートルにある。
②雁堤(かりがねづみ)が人柱の神社西側で左ずれの変位をみせている。
③蒲原町と富士市松岡の地震山の存在や、古文書などに記されている富士川の流路が安政東海地震以前はもと西側(富士川町側)であった。

断層監視による予知

富士川断層が動くことよって

次の東海地震が起こるとすれば、この断層の動きを常時監視することにより地震予知ができるかも知れない、という考えが浮かんできます。そこ

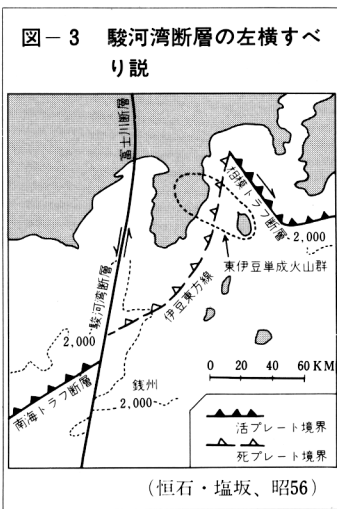


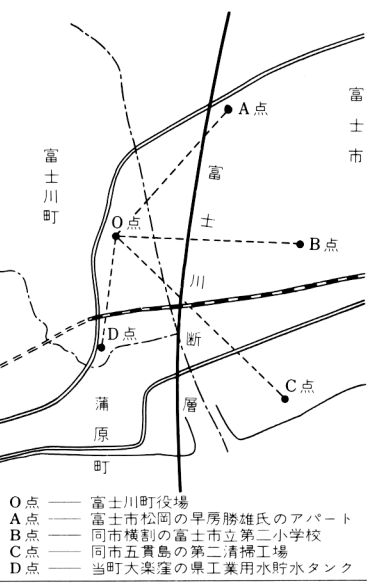
図-3 駿河湾断層の左横すべり説

役場職員が午前8時30分にレーザー光線による定時観測を開始したわけです。(図-4参照)
ところで、みなさんの中にはまだ「四つの観測点の距離を毎日測っているだけで、どうして地震の前兆現象がわかるのか」と思う人がいると思いますので、それについてもう少し話すことにします。富士川断層が左横すべり運動をすると、当然富士市側が北へ、当町側が南へ動くことになるわけ

です。そうすると、役場をOとした場合、O-A間の距離は伸び、逆にO-C間は縮むという現象が出てきます。
また「断層の動きが観測された時、すでに地震が始まっている」と思う人もいると思います。これについてみると、地殻をつくっている岩石は破壊する前に降伏点に達するという性質をもっています。そして、ダウン寸前にひびまづくわけです。この降伏点への到達をみつけることができれば地震予知が可能となるのではないのでしょうか。このために毎日観測が必要になるわけです。

さらに「もしも『横すべり説』が間違っていたら、毎日の観測の努力が無駄になるのでは」と思う人もいるでしょう。この疑問に対しては、次の例を紹介するこ

図-4 光波測定の測線



私たちと町のパイプ役 新区長さん決まる

私たちが役場とのパイプ役として、これから一年間、地域の要望や苦情を、役場や議会に積極的に働きかけて「明るく豊かな住みよい町づくり」に重要な役割を果たす。新区長さんたちによる本年度第一回目の区長会が4月14日、役場

- 議長 利雄 舟山町
- 副議長 仲出川政吉 本通り一
- 会長 滝 植松 茂 小町
- 理事 植松 茂 小町
- 北沢源太郎 旭町
- 浦田 益男 新町本町
- 三浦 松寿 東町二
- 小林 利夫 富士見町
- 小沢 儀作 儘下町

- 各区分長
- 木島 佐藤省吾 小山 植松茂
- △室野 谷津倉尚志 △相生町
- 秋山明 △上町 望月克己 △舟山町
- 滝利雄 △坂下 高坂金吾 △旭町
- 北沢源太郎 △堺町 浦田博恵 △川
- 坂 小永井茂吉 △新町 渡辺輪一

とにします。(図-5参照)これは今年度の地震学会で東京大学地震研究所の茂木清夫教授が発表したもので、昭和19年の東南海地震の前後に掛川市付近の水準測量によってとらえられた地殻の動きです。これによると、地震発生(二〜三日)前からの異常な傾きが観測されています。掛川市は断層面から数十メートル離れているのですが、それでも地震の前兆を示す地殻変動は伝わってくるのです。ですから、当町で行っている観測は「もぐり込み説」に対しても「横すべり説」に対しても、あるいは未知の「第三の説」に対しても有効なわけでは

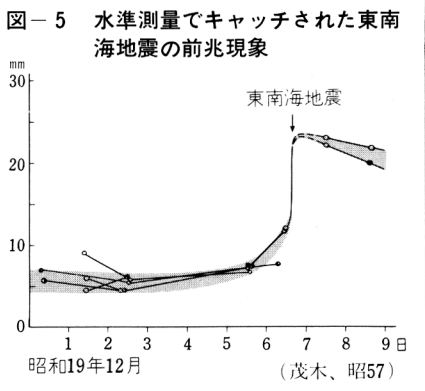


図-5 水準測量でキャッチされた東南海地震の前兆現象

がって、昨年の4月の値と今年の4月の値を比較すれば、みかけの変動を差引いた本当の地面の動きがつかめることになりす。そのような見方をすれば、A測線が一・九ミリ、B測線が四・四ミリ、C測線が七・四ミリと距離が全測線とも短縮していることがわかります。この変動は地殻が北西-南東方向に押し縮められたと解釈され、東海地方で、いろいろな方面から考えられる地殻の歪みとよく合っています。このように、わずか一年間で地殻の歪みがキャ

ッチできたということは、観測精度が非常に高いといえるのではないのでしょうか。以上の観測結果に対して恒石氏は「地殻の歪みの蓄積が東海地震に向けて加速段階に入っているかもしれない」と語っていました。
なお観測室を一度みたいという人は環境衛生課へ。

一年間の観測結果

では最後に、みなさんが一番関心のある一年間の観測結果をグラフでみてみましょう。(図-6参照)

マグニチュードと震度は違う

昭和53年に起こった宮城沖地震を例にとると、震源のマグニチュードが七・四で、震度は被害の一番大きかった仙台で五、東京では四となっています。これをみてもわかるとおり、マグニチュードと震度は違うものです。マグニチュードとは地震の大きさを示す単位で、震度は揺れをあらわす単位

だからです。この両者の関係は、電球のワット数と明るさによく似ています。たとえば、百ワットの電球をつけたとします。当然、その真下が最も明るく、電球から離れるにつれて暗くなっています。この場合、電球のワット数(百ワット)がマグニチュードで場所によって異なる明るさが震

度に相当します。これを宮城沖地震にあてはめると、マグニチュード七・四がワット数で、震源に近かった仙台ではト数で、震源に近かった仙台では明るく、より離れた東京では少し暗くなったと考えればよいでしょう。

地震のひとつくちメモ

マグニチュードとエネルギー 「一」が「三」になると数は二

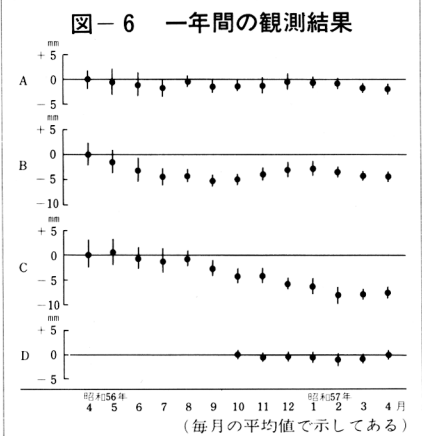


図-6 一年間の観測結果

増える。これは簡単な算数ですが地震のエネルギーの場合は、数字の加減算のようにとはいきません。具体的にいうと、広島に落とされた原爆のエネルギーはマグニチュード六に匹敵しますが、それより一・九規模が大きい大正12年の関東大地震は、広島原爆の約六百五十個分のエネルギーに相当します。

町への寄付金

(敬称略)

- 社会福祉事業へ
- 半在家 神戸与四郎 十五万円
- 教育振興(幼稚園)へ 本通一 篠根 啓一
- △新町本町 浦田益男△四十九町 麻布了△宮町 佐野勝次△小池加藤早苗△大業窪 岩崎製袋治
- △本通り一 仲出川政吉△本通り三 望月芳己△本通り四 谷秀夫
- △幸町 石本文男△東町一 宮崎茂△東町二 三浦松寿△日の出町 花田文雄△南町一 稲川豊△南町二 小林幾平△富士見町 小林利夫△かぎあな 小林武一△八幡町 宮嶋貞二△富士松野 三嶽照雄
- △清水町 田中義規△大北町 宇佐美六郎△儘下町 小沢儀作
- 二万一千二十円
- 上町 望月 昭彦
- 三万円 東町二 望月 良吉
- 三万五千元 富士川町婦人会
- 一万円 原方 山田百合子
- 一千三百二十円
- 木島木業会老人クラブ
- 三万円 新町本町 森山 幸一
- 五百三円 新町 渡辺 清
- 九百十円 旭町 斎藤タカジ
- 五千元 望月亜希子・石川美香

善意銀行へ寄託

57・3・14・4・30

今月のテーマ

広報デイスカッション

私のまがまが

友だちみたいなブリッコママ

本通り四 倉内 佐由己さん(13)

私の母は三ツ歳。今、女ざかりだと自慢しているブリッコママです。毎年母の日が近づくと「ハンドバックかクツがいいね」などと私と姉になぞをかけます。でも私たちはわざと知らんふり、安くて価値ある物を探してプレゼントし



提言者 太田芙美子さん

毎年5月の「母の日」がくるとまだ健康で元気である母の姿を見てホッとします。その母のもとを離れて二十余年、私もすでに母親となり、子どもたちに「富士宮のおばあちゃんによく以ているね」などといわれることもしばしば。そこで、私の心に残っている母の思い出を少し話すことにします。

まず思い出すことは、しつつけの面がたいへん厳しかったことだ。例えば、履物のぬぎ方が悪い時など、玄関から外へ靴を放り出されたことが何回かあるし、食事のマナーが悪く注意しても直らない時など、食事を抜かされたこともあった。さらに、好き嫌いや出された食べ物にけちをつけることなど絶対に許されなかった。しかし、反面とても優しいところもあった。クリスマスイブには、物資の乏しい時代にもかかわらず必ずプレゼントを私の枕元に置いてくれた。

また、来客に対する話の合せ方がとても上手だったことが印象的である。改めて自分自身を振り返ってみると、良いことも悪いことも知らず知らずのうちに母の影響を受けていることに気づく。「三つ子の魂百までも」という諺のとおり、幼いころに自分自身が身につけたことは一生直るものではない。「母の日」を機会に私たちは母親の良いところを思い起こし、次の世代にバトンタッチしていきたいものです。

肩の力を抜いてももういいですよ

大栗窪 田口敏美さん(23)

昭和7年7月24日生まれ、当年とって五〇歳。身長百四十センチ、体重四十二キ。私よりも一回りも二回りも小さい体で一体どこにパワーがひそんでいるんですか。まだ私があなたより小さかったころ、お母さんのことをそれこそスーパーウーマンかウルトラウーマンくらいに思っていました。どんな時でも、どんなことでもお母さんにできないことは何一つもないとも。お父さんが亡くなって今年でちょうど十五年、働くのに忙しくて、アツというまでしたね。

6月のテーマ もう一度非常袋の点検を

私たちの小山地区は世帯数四十九世帯、人口二百二十五人で、全世帯の七〇割が農家である。最近みかんが不況のため兼業農家が増え、勤める人が増加し、昼間は男性が不在の場合が多く老人、婦人、子どもだけというのが実態である。また地理的に常設消防所からも遠いことと、道路事情が悪いため、実際には消火活動に時間がかかり困難である。このような当地区に昭和54年3月、町から可搬式小型動力ポンプが貸与され、防災倉庫に保管することになった。このため、現在では防災機具の点検を年四回行い、不慮の災害に備えている。その一方、先にも話したように、昼間は男性が不在となる場合がますます多くなると予想されるので、現消防団員や退団した人、防災リーダーなどの人たちに、留守をあずかる婦人を中心

人間逆境にたつてその人の真価が

南町二 上野みつ子さん(60)

母(姑)は、明治29年に内房の峯に生まれました。当時としては珍しい静岡精華高女の出身です。私の実家の父とは従兄妹でしたが、実の娘のように接してくれました。

母は考え方が合理的で、じめじめしていませんでした。明治の人間はすじが通っている——という言葉そのままだ人でした。朝はきちんと髪を結び、伸子張りや板張りをして、浴衣なら一日に二枚は縫える腕前を持ち、家の中の着物や布団は古くても手入れがいきとどいていました。味噌や醤油のこうじをねかす時は、夜も寝ませんでした。

現在、家族が幸福に生活できるのは、先祖様の中でも母の力が大きい——と考えています。それは家が倒産しそうな時、母は他を責めることなく「気がつかなかった自分が悪い」と考えて「みつ子、財産は全部無くなっても仕方ないから、子どもたちにはかけないさい——」と言われました。人間逆境にある時こそ、その人の真価が問われるものです。十七年を経た今日でも、その時の母を思い出すと涙がにじんできます。

五年目になった

町内一周の寒業

小山 斎藤百代さん(37)

私の母は六〇歳。女ばかり五人の子持ち。子ども相手の駄菓子屋をやり、富士市で姉夫婦と一諸に暮らしている。子どものころ、妹にはとても厳しかったが、参観日にはニコニコして一番初めに教室に入ってきた母。お正月には、貧しいながらもやり繰りして新しい下着や靴、手製の衿に白いレースのついた素敵なワンピースを姉妹おそろいで用意してくれた。

現在では、趣味も多く、父の残していった花木盆栽を益裁クラブに入会して立派に咲かせたり、小鳥の飼育や商売そつちのけでゲートボールに興じて学校時代の友人たちと和やかに旧交を温め、今夜の巨人—中日戦も「中畑ノ篠塚ノがんばれ」と、テレビにばかりついていてのことでしょう。また本も好きで、大の物知り。歴史など解らないことは、母に聞けば間違いなし。それに今年で五年目とか。木枯らし吹く寒の入りから二十五日間、毎晩太鼓をたたきながら寒業に出かけ、町内を一周するそれで、いただいたお布施の半分を市の福祉事務所に寄付し、残りの半分で身延山に参拝、お守りやローソク、線香などを求め、お

嫂の微笑に

幸福な母をみた

相生町 伊藤孝子さん(41)

布施のお礼としてお返ししているとのこと、姉から話を聞き頭の下がる思いです。私もこの母を人生の師として、自分のできることから、除々にあせらず、一步一步努力していきたいと思えます。

久しぶりに田舎に帰省した私に嫂(あによめ)が、そつと耳元で「おばあちゃんは今までのおばあちゃんとは違うよ」と言うのです。私も最初それがどんなことかと思いましたが、数時間母と話をしていく内に、それを感じま

また、昔から出入りの多い家でしたので、野良から帰るとサツサと部屋着に着替えたものでした。母のおしゃれは回りの人になやな思いをさせたくない、という心づかいだったようです。しかし、私と会って一時間余りもたない間に着物を四度も替えてくるのです。大分恍惚になりかけていました。お茶を入れながら嫂が私に目で

お母ちゃん

な、お母ちゃん

大北町 佐野三郎さん(53)

断り切れない人に投稿を頼まれて住む八十路をすでに過ぎた昔の母、今おばあちゃんを思い出している。

「お母ちゃん、な、お母ちゃん——」これが私のクセだったそう。四つ時、兄二人と一諸にハシカを病み、病後が悪く青白い顔で「カッターイ、カッターイ」という病身の子になってしまった。そして医者勧めで薬(血肉トーゼ)と運動をすることになった。家の前の道に出て右に一周廻る、その厭なこと、始めは母が手をひいて廻ったが、その後「一人で廻れ」といわれたその時の心細かったこと、五十年経っても覚えてい

投稿者へ

6月のテーマ

もう一度非常袋の点検を

◎字数

◎締切り日

◎投稿者

◎締切り日

◎投稿者

庭先に立つ母が見えなくなると何回か休み、再び見えてくると元気がどいわんばかりに笑いながら帰ってきた。今考えると、この薬と母親の執念が私の健康をとりもどし、以来大病を知らずに今日になったと思う。あの時、泣いて厭がる我子突き離れた母の心を、子の親となった現在、つくづく思い知らされている。今度逢ったらこんな思い出を話してみよう、テレずに。お母ちゃん、な、お母ちゃん——。

ママさん記者の 役場訪問記

～議会事務局編～

降り続いた雨も夜のうちに上り、さわやかな風が吹きたる5月4日、私たちは役場庁舎三階にある「議会事務局」を訪ねました。午前9時、事務局に着くと、斎藤事務局長さんはもの柔らかな口調で私たちに迎えてくれ、さっそく事務局と密接な関係にある議場を案内し、具体的な議会運営についての説明をしてくれました。その後、議員控室を兼ねた事務局の室にもどり、私たちは日ごろなじみの薄い事務局の仕事についてうかがってみました。

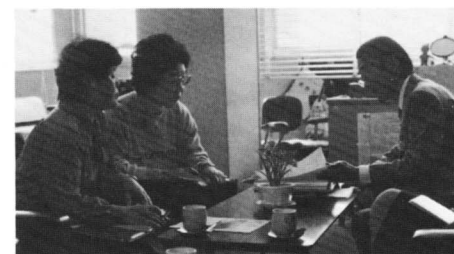
事務局は昭和41年6月に誕生し、職員は現在、局長と主事の二人で、それぞれ監査委員事務局長と同事務も兼務しているということでした。そして、その身分は町議会の議長に所属し、町職員から同事務局へ出向ということになっています。では、仕事についてみると、係は庶務係と議事係の二つがあります。

庶務係 望月主事がこれに当り、一般庶務、議会共済会、議会互助会の事務、議場や控室・監査委員室の整備と管理、議会費の予算と決算、本会議録の調整や作成が主な仕事です。

議事係 事務局長がこれに当り、本会議の議事や選挙、各委員会の記録調整、統計資料の作成、必要資料の調整や収集・作成、議会広報「芙蓉」の発行などの他、例月現金出納検査・定期監査・決算審査などの監査補助をし、監査報告書や意見書を作成配布するのも大切な仕事の一つです。

事務局局長さんの話にうなずきながら、その文書作成の分量の多いのに圧倒されました。それは本会議の議事録作成の一つをとっても一日の議事をテープにとり、それを整理してまとめるのは約一ヶ月を要するそうで、ぼう大な議事録が並んでいる書棚を見ると、大変な仕事だな——と思いました。

また事務局局長さんは、定例議会よりも、総務・厚生・建設の常任委員会、それに五つの特別委員会、さらにそれに関連する協議会などに出席し、議長や委員長を補佐して議会運営が正しく円滑に行われるように配慮することが大切で最も神経をつかうと語っていました。同事務局は一般の窓口業務とは違い、私たちが顔を合せるこ



左から望月・久保田両モニターと高藤議会事務局長

とが少なくだけに、仕事の内容について知る機会もなかったのですが、今回の訪問で、報告書や意見書の提出などを通じて、議会運営を支えているということが理解できました。

最後に、事務局長さんは「気軽に議会の傍聴をして、みなさんが選んだ議員さんの議会活動に取組んでいる真剣な姿を見てほしい」と話していました。議会の傍聴は難しい手続きなど一切なく、当日受付で傍聴人受付簿に署名するだけでよいそうです。開催日や議案については地域の議員さんに向かがえばわかりますから、あなたも一度は傍聴することをお勧めします。なお、議会一日目には一般質問なども行われるそうです。

広報モニター 望月洋子

あなたを訪問したらよろしく

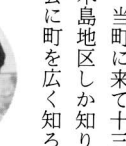
新しいママさん記者です

「住民参加のもっと親しみやすい広報紙に」をモットーに昨年4月に誕生した広報モニターも二年目を迎え、今月号から新しいモニターのみなさんにバトンタッチされました。そこで今回は、新モニターのみなさんの横顔を紹介します。ママさん記者があなたを取材にうかがった折には、どうぞよろしく。



植松ゆみ子さん (小)

は、子どものお母さんやクラブのみなさんに限られていたと思うんです。これからは、町内の多くのみなさんとお話したいですね。



天野恵美子さん (舟山町)

当町に来て十三年になります。木島地区しか知りません。この機会に町を広く知ろうと思います。



我我久子さん (大楽窪)

町内で生まれ育ったのですが、子育てなどで家庭に入ってしまったので、社会とのつながりを取りもどしたくて参加しました。



中沢 雅さん (本通り四)

町内で私も生まれ育ったんですが、よそから当町に来た人より町を知らないと思うんです。ですから町を知るために参加しました。



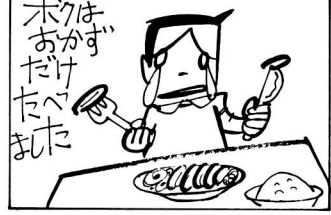
望月洋子さん (南町二)

当町に来て二十数年になります。が、世情にうといため視野が狭まる一方です。これを機にそれを打破りたいと思います。



久保田豊子さん (清水町)

家で商売をやっていることもあって、町のことはうとくなりがちです。そこで女らしくなって女の立場で町を見たいですね。



社会教育からの提言

若者との交流を

地域の中で、現在活発に活動している団体は、子ども会、婦人会、老人クラブなど、いくつかをあげることが出来ます。これらは、日々の地味な活動の積み上げの中から、貴重な実績を生み、自らも学ぼうとする向上心と隣人共和の精神を保ちながら、社会に貢献しようとする努力をしています。

こうした尊い活動を見る一方で、私たちの町には中学生以上の青少年を対象として、構成された集団がまったく見当たらないことに気づきます。そんな中で、かろうじて青年団が存続し、若者としての集団を皆無から救っているわけです。

いったい、これからの不透明な時代を背負うはずの若者のあるべき姿として、これだけののだろうか、悲観的な考えを持たざるをえません。毎日が学校と家庭の往復の中で、地域社会の空気から隔離され、大切な人間形成期を過ごしてしまうのではないはずがありません。

こうした生活を繰り返した子どもたちは、現実の大人社会の表面のみを見て、大人を判断しているわけです。

現代の生活サイクルは確かにめまぐるしく多忙です。幸いにして、各地区には身近かに公会堂、公民館といった素晴らしい公共施設があります。これらを活用して、その地区独特の活動(身のまわりを明るくする活動)が町内の各所で展開されるようになれば、私たちの町の未来は創造性のある心豊かなものになることと確信しますが、あなたはどう思いますか。みなさんのご意見やご要望を教育委員会社会教育係でお待ちしています。

税の豆知識

(その10)

土地の評価方法を前回話ししましたから、今回は家屋の評価方法から話を始めます。

家屋の評価は木造家屋・非木造家屋別に、各個の家屋について部分別(屋根・基礎・外壁・柱・造作・内壁・天井・床・建具・建築設備など)に評点を付し、それに一点当たりの価格を乗じて求めます。これに家屋の損耗の状況や需給事情・山間部の不便な場所などの地域差による減点を行います。したがって家屋を建築した場合、坪当たり三十万円かかったとしても、固定資産税はそれよりかなり低額で評価されます。また評価上では、建築された家屋本体やそれに付帯する設備などが対象となりますが、家具・調度品・門へい・植木などは対象になりません。

最後に、住宅用地の課税標準の特例について話します。人が居住するための家屋(専用住宅)や、その一部を居住のために使う家屋で、居住部分の割合が四分の一以上である家屋(併用住宅)の敷地として使われている土地については、課税標準がその価格の二分の一の額となります。また二百平方メートル以下の住宅用地(二百平方メートルを超えるものについては、その上にある住居一戸につき二百平方メートル以下の住宅用地「小規模住宅用地」という)については、課税標準がその価格の四分の一の額となります。さらに、あなたやあなたと生計を一にする親族が居住のための家屋や、その部分で主として保養する目的で所有するもの(別荘など)は、住宅用地の課税標準の特例から除外されます。

つぎに、固定資産税の課税標準について話します。固定資産税の課税標準は、固定資産の価格で固定資産台帳か固定資産補充台帳に登録されたものとされています。また土地や家屋については課税標準となる価格の据置制度が設けられています。そして、三年目ごとに基準年度と

戸籍の窓

57・4・1\4・30届出

(敬称略)

おめでた

区名 出生児 保護者 続柄
 小山 常盤 貴宏 孝行 二男
 上 町 池上 絢子 裕幸 二女
 坂 下 岩下味世子 登喜雄長女

四十九町古木 壽 茂 長男
 宮 町 岩淵 翔太 勇 長男
 南町二 三浦 綾香 正雄 長女
 富士見町小林 千里 幸夫 二女
 八幡町 井出 裕基 昌之 長男
 〃 松本 美里 廣幸 長女
 富士松野高原 育己 民生 三女
 〃 大塚 高史 和浩 長男

かなしみ

清水町 重村 千香 忠夫 三女

区名 氏名 年齢
 相生町 齋藤千鶴子 七三
 川 坂 井出 勝 七三
 宮 町 関原幸太郎 八六
 本通四 荻野 そを 七九
 東町一 佐藤 せん 八四
 清水町 稲葉 茂 八一

おかあさんの知恵袋

今月は「約款取引」についてお話しします。

生命保険に加入したり、ローンで商品を買ったりした時に、その契約の条件を印刷した文書を渡されたことがあると思います。このように、あらかじめ決められた契約条件のことを「約款」といいます。約款には、取引の費用を節約できるなどの利点もあるのですが、約款を作成するのは事業者であるため、ややもすれば消費者に不利な内容のものになっていることがあります。しかも約款は、難しい法律用語を使って書かれている場合がほとんどです。このため、消費者は約款の内容を理解しないまま契約を結んでしまい、何か不都合が生じた時に初めて約款の内容を知るといった事態が多く発生しています。そこで、適正な約款取引を実現するためには、私たちも次のような点をよく確認し、十分納得した上で契約しましょう。

- ◎私たちが消費者の義務などはどう決められているか。
- ◎いつ契約が成立するのか。
- ◎義務を怠ったらどうなるのか。
- ◎契約する時はどうするのか。
- ◎事業者は不都合が起きた時などどの範囲まで責任を持つのか。

一里塚



「お茶が入りました——」妻の声である。

「新茶か！ うまいな——」。

今日は5月2日「八十八夜」である。立春から数えて八十八日目を「八十八夜の別れ霜」といつてこのころになると霜も降りなくなるので、どこでも茶摘みが始められる。このころ摘まれた新茶は、昔から「長寿」の妙薬といわれている。なにしろ、お茶にはビタミンCが多く含まれているそうで、その中でも特に新茶には多いと聞く。また、あの香りがなんともいえない。——ゆつくり味わって飲んで。

ところで現在、お茶と日本人の

編集後記

生活は切り離せないものになっている。来訪者があれば、なにはともあれお茶を出し、くつろぎの時間には「お茶を入れましょうか——」ということになる。日常茶飯事なので、別に取立てて考えることはないが、お茶というものは人の心をやわらげるものではないだろうか。

最近、私は妻の影響もあり、お茶（抹茶）に興味を持ち始めた。興味を持つと、おかしなもので茶碗・菓子器などの道具類にもそれぞれのおもしろさを感じるようになり、なんと楽しいものである。また作法までは分からないが、わずかな時間でも静かな気持ちで飲む一杯は心が落ち着くものだ。これからは簡単な作法を覚え、私の手前が訪者をもてなしたいものである。

Y・O

俳句会

〈文協俳句会〉

宮 町 増井 冬木

※日K誌者文芸俳句56年度最優秀作品

花筏くずしては鯉浮かびけり
 大北町 天野 たま

花くぐりくぐりてゆくや女人堂
 一隅に備前の甕のおぼるなり
 南 町 法月 幸子

民話・伝説集「ふるさと富士山」発刊

炉語りにまた炉語りに編む民話
 むせるほど花浴びし夜の雨の音
 南 町 影島 智子

平穩の続く不安や青葉木菟
 箱苗のいつせい芽吹く夕心
 南 町 木伏 八子

転出の悲喜こもごもに花の散る
 旭 町 笠井みち子

春雷に難しとおもう願ひ持ち
 清水町 宇佐美裕子

過去は過去四十路踏み出すおぼろかな
 南 町 宇佐美幸子

疲れての言葉荒れたる桜どき
 南 町 田辺つぎ子

屋久杉のかげりの中の花明り
 南 町 上野みつ子

幼な顔卒業式に見つけたり
 南 町 上野 君江

種芋の芽のたしかさよ雨上がり
 本通り 古木喜久恵

竹の子や息吹く土の匂ひけり